

★学校の教育目標	★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）	・「子供たちがつくる学校プロジェクト」の一層の充実を図るため、企画運営を行う「児童会本部役員」に各委員会の委員長を加えた「中央委員会」を中心とした組織体制を確立し、円滑で効率的な運営ができるようにする。 ・コミュニティ・スクール移行に伴い、名称を「潤徳ファンミーティング」(略称:潤ファミ)とし、学校をよりよくするサービスを提供する店舗というコンセプトの下、地域学校協働活動の推進を図る。 ・「デジタルを活用したこれからの学び推進地区」の実践校として、デジタルを活用したこれから求められる授業に関する研究を進め、広く普及啓発を行う。	
【目指す児童像】		笑顔いっぱい、元気いっぱい、やる気いっぱい、潤徳の子（対話・協働）
【目指す学校像】		笑顔招福～SMILEFUL 潤徳小～（多様な参画）
【目指す教師像】		「できない」ではなく「できるためにはどうするか」と考える教師 地域にある学校として、地域を愛する教師 自らの職責と使命の重さを自覚した「プロ意識」の高い教師 「潤徳愛」とチャレンジ精神にあふれる教師（教職員の挑戦）

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組指標	成果指標
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	「子供たちがつくる学校プロジェクト」の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童自身が、学校生活をよりよくするための活動を考え、実践する取組を推進する。 従来の形式にとられない、児童の発想を生かした新たな行事やイベントを創造する。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会活動、クラブ活動、たて割り班活動、児童集会等において、児童が主体的に活動を企画し、学校をよくするための取組を実行する。 従来の代表委員を「児童会本部役員」として企画運営の役割に特化し、各委員会の委員長を加えた「中央委員会」を中心にプロジェクト推進に向けた横断的な取組を行う。 運動会、展覧会等の行事に向けては、プロジェクトチームである臨時の実行委員会を設け、機動的に企画立案ができるようにする。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 児童アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 児童アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
				2 80%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	2 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%以上
				1 80%未満の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	1 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%未満
	保健衛生や安全に気を付け、体を鍛える児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> 児童の健康や安全を守るための取組を推進する。 食に関心をもち、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける児童を育成する取組の充実を図る。 運動に継続的に親しみ、体力を向上させようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いの習慣化や換気の励行による感染症予防、夏季のWBGT数値測定による校外活動の実施の判断等の取組を徹底する。 生活安全、交通安全、災害安全に関わる教育を組織的・計画的に実施する。 栄養士や食育リーダーを中心とした、計画的・継続的な食に関する指導の推進する。 「東京2025世界陸上」、「東京2025 デフリンピック」の現地での体験等により、スポーツへの関心を向上させる。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 児童アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 児童アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
みんなの多様な学びとあわせをつくる	「デジタルを活用したこれからの学び推進地区」実践校としての取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用したこれから求められる授業に関する研究を行い、その成果を普及する。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用したこれから求められる授業に関する研究を進めることで、予測困難な時代において、よりよい変化を起こそうと自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力等を児童に育成する。 本事業の予算を活用して購入したポータブルモニターを活用し、児童が主体的に発表できる環境整備を進めるとともに、本校の校内研究である、ファシリテーターとしての教師の役割の明確化につなげる。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 児童アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 児童アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
				2 80%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	2 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%以上
				1 80%未満の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	1 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%未満
	児童一人一人に徹底的に関わる指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人の状況に応じた適切な指導と必要な支援の充実を図る。 関係機関、専門家との連携による組織的な取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習のつまずきをそのままにしないための、習熟度別指導の充実及びリソースルーム、学力向上支援者等の活用を図る。 ステップ教室、せせらぎ教室、わかば学級等との連携による一人一人の児童の状況に応じたきめ細かい指導を実施する。 リソースルームの役割拡充、家庭と子供の支援員の活用等を通して、不登校傾向のある児童への登校支援の充実を図る。 校内支援委員会で情報と対応の共有化を図り、エール、子ども家庭支援センター、児童相談所等との連携による多面的な支援を行う。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 児童アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 児童アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
社会と未来に開き、みんなのできる	コミュニティ・スクール移行による、地域学校協働活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 「学校生活をよりよくするサービスを提供する店舗」とのイメージを基本とし、保護者や地域関係者が学校運営に関わる体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「潤徳小学校コミュニティ・スクール委員会」の名称を「潤徳ファンミーティング」（略称：潤ファミ）とし、委員を店員と呼称することにより、学校や地域へのサービス提供という目的を明確にする。 年3回の定例会に加え、オンライン活用した臨時会を随時行い、意思決定が速やかにできるようにする。 店員の中に地域コーディネーターが入り、調整を行うことにより、地域と結び付いた教育活動の一層の推進を図る。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 保護者アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 保護者アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
				2 80%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	2 保護者アンケートの肯定的な回答の割合が80%以上
				1 80%未満の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	1 保護者アンケートの肯定的な回答の割合が80%未満
	保小、小小、小中連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の4つの保育園との連携を中心に、円滑な接続を図る。 日野第八小学校と一部の教育活動を共同で実施する。 主に三沢中学校との交流を深め、中学校進学への不安を軽減する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年の担任が幼稚園、保育園を訪問したり、電話連絡を行ったりすることで、本校に入学予定の園児の情報共有を図る。 近隣の4つの保育園と、園児と児童の直接交流を行うとともに、本校で保育園が運動会を行うことに積極的に協力を。 日野第八小学校と本校が共同児童集会や共同授業の実践を行うことで、児童、教職員の交流を深める。 三沢中学校の生徒会との交流、教員研修の共有化等を通じて、小中連携の強化を図る。 	4 100%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	4 児童アンケートの肯定的な回答の割合が90%以上
				3 90%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	3 児童アンケートの肯定的な回答の割合が85%以上
				2 80%の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	2 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%以上
				1 80%未満の教員が具体的な方策を意識して取り組んだ。	1 児童アンケートの肯定的な回答の割合が80%未満

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。